

## アプリックス、 Mobile Information Device Profile (MIDP) の 次期バージョン提供へ

2009年5月1日 東京

株式会社アプリックス(本社:東京都新宿区、代表取締役:郡山 龍、以下「アプリックス」)は、携帯端末向け Java™ 仕様 Mobile Information Device Profile の次期バージョンである MIDP 3.0 (JSR-271) の公式なリファレンス実装 (RI) とテクノロジー互換性キット (TCK) を提供することを本日発表いたしました。RI と TCK の提供開始は 2009 年第 3 四半期を予定しています。

世界で最も普及している携帯端末向け開発プラットフォームである MIDP 2.0 の次期バージョン、MIDP 3.0 には、より魅力的で有用なコンテンツ環境を Java で実現するために革新的な新機能が追加されています。MIDP 3.0 は、携帯端末向け Java のさらなる進化を促進していきます。新しいユーザーインターフェースや仕様のより厳密な記述によって、開発時間を短縮し、フラグメンテーションの可能性を減らします。また、MIDP 3.0 には共有ライブラリ、複数アプリケーションの同時起動処理の標準化、アプリケーション間コミュニケーションなどの基本アーキテクチャレベルのコンセプトが導入されており、Java 開発者によるアプリケーションの設計と配布の方法を大きく改革します。さらに MIDP 3.0 は MIDP 1.0 や MIDP 2.x と互換性があるので、既存の携帯電話向け Java アプリケーションの広大な市場を活用できます。

アプリックスは、携帯電話をはじめデジタル機器用の Java テクノロジーにおいて世界的なトップ企業です。Java Community Process<sup>SM</sup> (JCP<sup>SM</sup>) の Java ME の EC 会員で JCP のあらゆる Java 仕様の策定に取り組んでいます。さらに、LiMo Foundation をはじめ OMTF、Bondi、OHA、OMA など各産業団体の会員でもあり、世界の通信事業者の Java 仕様の策定やそのコンプライアンス試験の開発に協力するなど技術的専門知識を供給しています。アプリックスの Java プラットフォームは、世界のトップメーカーに採用されており、その搭載製品の累計出荷台数は 2008 年 12 月末時点で 5 億 3,100 万台を超えております

### ■株式会社アプリックスについて

アプリックスは、携帯電話をはじめデジタル機器用の Java テクノロジーにおいて世界的なリーディングカンパニーです。世界に先駆けて携帯電話向け Java サービスが始まった日本において、その創成期から株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ、J-フォン株式会社(現社名:ソフトバンクモバイル株式会社)および KDDI 株式会社、3 社全ての仕様に対応した Java テクノロジーを供給してまいりました。また海外においても、韓国サムスン社をはじめ北米モトローラ社、台湾 HTC 社などへ、世界の通信事業者の仕様に対応した Java テクノロジーを供給しています。主力製品である JBlend™ は、携帯電話やデジタル家電において、Java アプリケーションを動作させるプラットフォームです。世界のトップメーカーに採用されており、その搭

# Aplix Press Release



載製品の累計出荷台数は 2008 年 12 月末時点で 5 億 3,100 万台を超えております。

1986 年設立／1996 年 Java のライセンス取得／2003 年東証マザーズ上場／2004 年台湾の iaSolution と企業統合

本社：東京／拠点：横須賀、沖縄、サンフランシスコ、ミュンヘン、台北、上海、北京、ソウル、ロンドン

## ■このリリースに関するお問い合わせ先

株式会社アプリックス 広報担当

03-5286-8436

<http://www.aplix.co.jp/>

※JavaおよびJavaに関連する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

※JBlendおよびこれらに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

※その他の社名、製品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。